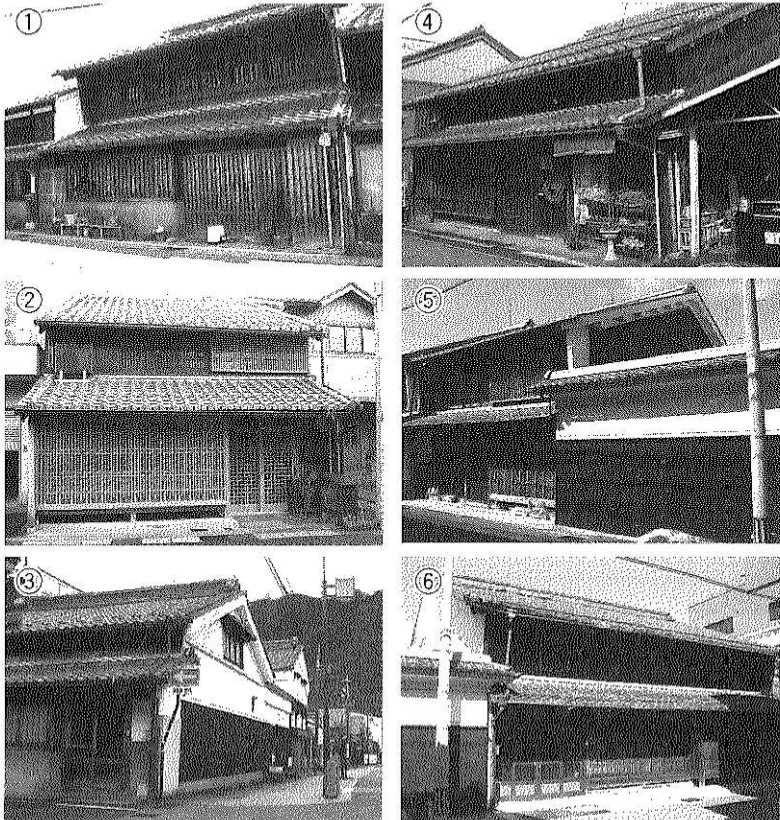


# 井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日  
 発行・平成26年9月10日・第15号通信  
 責任者・小林 孝夫 (井の口まちづくり会会長)  
 〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760  
 事務局長・名和 利夫 ☎058-263-0097  
 通信編集作成・馬場わかよ

## 第1回「まちの文化的建造物」に7邸を顕彰



標札の贈呈式に出席いただいた平野様、杉山様、河村様

### 定期総会にて標札を贈呈

町家は、そのまちの歴史と文化を物語っています。井の口に存する町家もエリアの魅力を生み出す大きな役割を担っているとともに、地域に住む私たちの誇りでもあります。

井の口まちづくり会ではこうした町家の魅力を地域に再認識していただくとともに、お住まいの方々への感謝の念を込めて昨年度から自薦、他薦による「まちの文化的建造物」顕彰制度を発足しました。本年度の総会では第1回として選定された7物件の所有者の方々へ標札を贈呈しました。

なお、この顕彰制度は今年度以降も続けてまいります。新たに築造された物件でも、井の口の文化を醸し出す物件は対象にしていきたいと考えています。

(小林孝夫)

- ① 今町1丁目 杉山邸
- ② 今町2丁目 伊藤邸
- ③ 今町2丁目 平野邸
- ④ 上茶屋町 吉田邸
- ⑤ 下茶屋町 河村邸
- ⑥ 下茶屋町 中川邸
- ⑦ 山口町 森部邸

### 平成26・27年度役員紹介

顧問	堀 達夫		
相談役	松原 和生		
会長	小林 孝夫		
副会長	堀 智仙	杉山 秀子	
	伊藤 逸夫		
事務局長	名和 利夫		
会計	後藤 勝利	杉山 範彦	
監査	杉山 周三	片岡 雅子○	
幹事	安藤 幸延	神山 明○	
	川島 和恵●	篠田 壽夫	
	小林 教子○	鈴木 美幸子	
	杉山 鉦一郎	高橋 紀久子	
	高橋 かずえ	馬場 わかよ○	
	武井 英男	森 喜彦○	
	見並 薫司●		

●=新役員 ○=事務局から移行

### 26年度会費納入のお願い

会員の皆さまには日ごろからまちづくり会活動へのご協力、本当にありがとうございます。まだ平成26年度の会費納入がお済みでない方は、事務局長、会計など役員にお申し出をお願いします。

- 金華地域会員 1口 500円
- 他地域会員 1口1,000円 (郵送費込)



### 講師 河合俊和氏

岐阜市東材木町生まれ  
 日本大学理工学部建築学科卒業  
 東京芸術大学美術大学美術研究科大学院卒業  
 神山アトリエ+環境造形研究所勤務  
 Studio Angelo Mangiarotti (イタリア・ミラノ) 勤務  
 1996 帰国後、アトリエ開設  
 2002 一級建築士事務所開設  
 2014 岐阜市に移住、同時に小原屋13代目継承

教職歴 東京工芸大学建築学科非常勤講師  
 三重大学工学部建築学科非常勤講師

### 総会特別講演 保全・再生・伝承：その統合に向けたヴィジョン

東材木町在住の河合俊和氏から特別講演をいただきました。河合さんはお父さん亡きあと東京から帰郷され、のほり鯉の作成をはじめとする小原屋の伝統工芸をご夫人とともに引き継ぎながら、設計事務所の主宰として活躍されています。特に伝統的町家の在り方に精通され、快適な居住空間が従来の町家でも実現でき、意義な時間となりました。(小林孝夫)

講演会では、新しい断熱工法、空間づくり等の紹介をとおして、古民家が持つ魅力と居住性を高める工夫についてお話しいただき、井の口の課題に相応しい有意義な時間となりました。(小林孝夫)

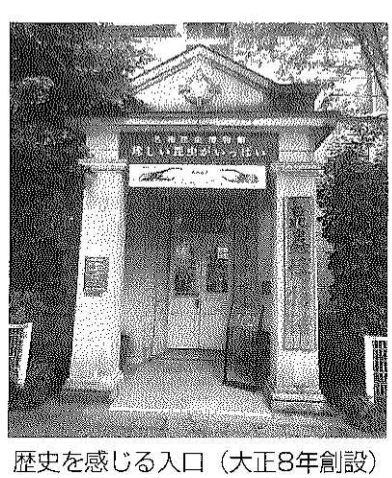
### 平成26年度定期総会を開催しました

今年も、ゴールデンウィークが始まる4月27日(日)歴史博物館にて、佐藤哲也岐阜市副市長と高木金華自治会連合会長ほかの来賓をお迎えして、井の口まちづくり会定期総会を開催しました。

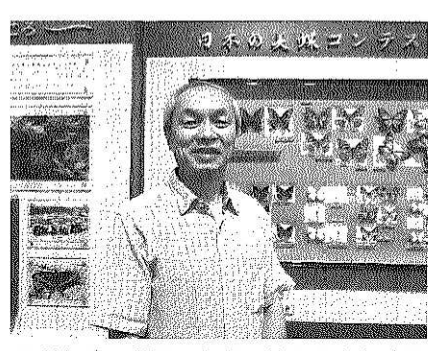
総会では、平成25年度事業報告及び決算報告、並びに平成26年度事業計画案と予算案の承認がされ、続いて役員改選が行われました。

また、セレモニーとして平成26年度第1回「まちの文化的建造物」の顕彰発表が行われ、併せて標札の贈呈式を行いました。

総会終了後は休憩をはさんで、建築士河合俊和さんの特別講演が行われました。(名和利夫)



歴史を感じる入口 (大正8年創設)



子ども達の質問に気軽に答える名和館長

木曜日定休 年末年始休み 夏休み無休  
 10時～17時 (入館は16時30分まで)  
 高校生以上：500円 4歳以上：400円

### まちなかお宝アート発見 名和昆虫博物館

この10月で95周年を迎える名和昆虫博物館。昆虫専門としては日本でも最も長い歴史を持つ博物館です。井の口というより岐阜市のお宝でもあり、夏休み最後の週、平日でも大勢の家族連れでにぎわっていました。

5代目になる名和哲夫館長は「建物の古さや外観的に入りにくいかも知れないけど、幼稚園児から、虫が苦手な女性でも喜んで見ていただけています」と言われます。

その特徴としては、勉強型ではなく参加型。一年に30人に当たる「クイズ」があったり、「もらえてしまうかも知れないアンケート」に欲しい標本昆虫名を記入すれば本当に送られてきたりと、とてもユニーク。

少年だった日を思い出して遊びがてらに、また、孫たちが帰省したときなどに出かけてみてはいかがですか。何時間でも見ていて飽きない昆虫の世界が、こんな身近にある幸せを感じてください。(馬場わかよ)

# 井の口まちづくり会・各部会活動のご案内とご報告

## まちの風景検討部会 日帰りバス視察研修 近江八幡・安土城跡 11月16日(日)

**参加費3,000円 定員40名(まちづくり会員限定)**  
先着順・受付開始は10月15日から(定員になり次第締め切り)

今回で5回目となる日帰りバス視察研修は、まちづくりの成功例で名高い近江八幡と井の口にゆかりがある安土城跡に決定しました。

近江八幡の視察を中心に、街道筋にあたる安土城跡、さらには新しいまちづくりを実践した彦根キャッスルロードを訪ねます。

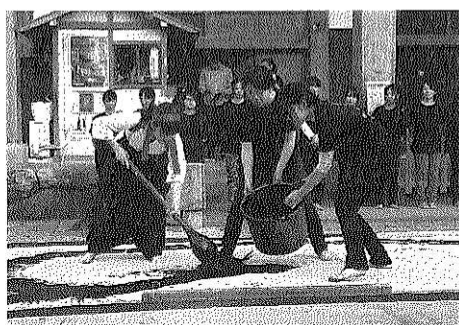
参加を希望される方は、左下の申込書を10月15日より下記申込み先へ提出してください。参加費には昼食代が含まれています。

- 申込み先 正法寺大仏殿受付へ(小林会長宅)
- 参加費用 3,000円(集合場所受付にて当日納金していただきます)
- 集合日時 11月16日(日) 午前7時30分(午前8時出発)
- 集合場所 岐阜公園・名和昆虫博物館東側
- 帰宅時間 午後6時頃を予定 (部会長 名和利夫)

※お願い: 当日と前日のキャンセルは、参加費用を徴集させていただきます。

## まちなかアート部会 10月4日(土)~11日(土) 「まちなかお月見アート」を開催

**10月4日(土) 午後3時から書道パフォーマンス**  
**10月11日(土) 午後6時からスタンプラリー開催**



昨年の書道パフォーマンスの様子

5回目となる十三夜を愛でる「まちなかお月見アート」を開催します。お月見の風情をいっしょに楽しみましょう。

### ススキを配付します

10月4日(土)午後1時より2時、ふくろう絵工房(伊藤)、光芳堂(杉山)前にてススキを配付します(予約可)。玄関前に飾っていただける方は受け取りに来てください。

### 大仏殿にて岐阜女子大学書道部の学生達が大作を芸術的に揮毫!

初日の4日(土)午後3時から、大仏殿にて岐阜女子大学書道部の学生さんらが袴姿で大筆による揮毫パフォーマンスを行います。たくさんの皆さまのご観覧をお願いします。この作品は11日まで大仏殿東道路側にて展示されます。

### スタンプラリーの参加者にはせんざいの振る舞いがあります!

最終日の11日(土)は、夕6時から(8時まで)スタンプラリーを開催します。スタートは大仏殿で、金華山とお月さまが美しい観賞スポット・般若寺を回り、3つ目ゴールの伊藤家(ふくろう絵工房)にて、手づくりせんざい(先着100人分)をお楽しみいただきます。雨天は振る舞いのみ有り。(部会長 伊藤逸夫)

## イベント部会 9月23日(祝) 「御鯨街道市民ウォーク」

第6回「御鯨街道市民ウォーク」が今年も9月23日(祝)に行われます。今回からA地区(金華・京町・明德)、B地区(梅林・白山・華陽)、C地区(加納東・厚見・茜部)ごとに幸鎮役などを選出することになりました。A地区では御鯨荷持ちに岐阜小学校のPTAが、旗持ちには中央中学校生徒が参加します。沿道の皆さんの参加もお願いします。

また、井の口まちづくり会では御鯨所跡にて、資料の配付と拡大パネルを展示いたします。(部会長 高橋かずえ)



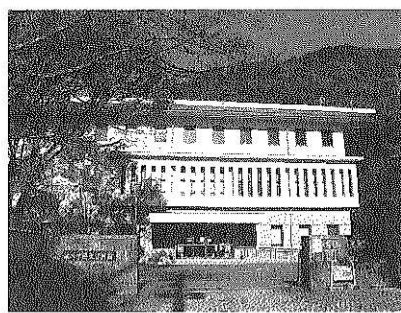
昨年の御鯨街道ウォーク参加の皆さん

## まちの歴史探索部会 9月28日(日)定員20名 歴史資料館「収蔵品特別閲覧会」

夕陽ヶ丘にある岐阜県歴史資料館には古くからの美濃、飛騨にまつわる貴重な歴史資料が保存されています。

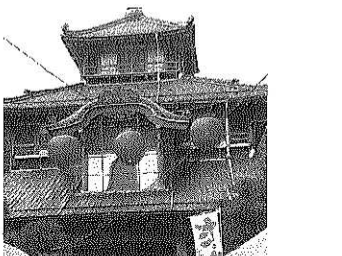
この度、館長さんの特別な計らいで8月10日(日)、館内資料の見学と小川敏雄氏解説による「収蔵品特別閲覧会」が予定されていました。しかしながら、台風11号の襲来で残念なことに中止を余儀なくされ、9月28日(日)(午後1時30分~)に延期することになりました。

今回は、員数に制限がありますので、参加は原則として先般申し込まれた方とさせていただきます。(部会長 杉山周三)



マリーアンサンブルの皆さん

まちなかアート部会  
七タコンサートを開催しました  
7月5日(土)「七タコンサート」を木挽町般若寺にて開催。山門に七夕の笹飾り、参道には高木住職手づくりのキャンドルがムードを盛り上げ、70名ほどの参加を得て、岐阜ドルチェ団員「マリーアンサンブル」(松原、鈴木、江崎、高井氏)によるヴァイオリンとギター演奏会を行いました。  
今回よりコンサートのみの七夕イベントとなりませんが、夕やみに迫る金華山をバックにした七夕の夜にふさわしい星と月をテーマにした10曲余りを披露していただき、参加者とともに楽しい夕べを過ごしました。



遊びの様子

イベント部会  
大仏フェスティバルの遊びを担当  
7月に、第27回「大仏フェスティバル」があり、イベント部会が子ども達の遊びを担当しました。  
あいにく19日(土)は雨で遊びは中止となりましたが、翌20日(日)は好天に恵まれ、小さいシートに何人乗れるか、グループごとに競い合いました。少しでもスペースを作ろうと、両手を上にあげたり、押しくらまじゅうのように、ギョッと友達と肩を組んでひつつきあうなど、皆仲よく工夫し、なかには負んぶをする子もいて、楽しい笑い声が境内に響き渡っていました。

## バス視察研修参加申込書

氏名			
住所	〒	—	
	TEL	—	—
同行者名 家族のみ			
〇で囲む	会員	新規会員*	

※新規会員は、参加費と今年度会費をいただきます。

「お月見アート」のスタンプラリーのおりには、金華山とお月さまを愛でながら、ぜひ標札のかけてある家々も廻って、このまちの風情を楽しんでいただけたらと思います。  
このようにまちの景観が尊重され継承されていることは、この地区に暮らす私たちの喜びであり誇りですが、まちの中で視線を少し上に向けますと、残念ながら景観を損なう目障りなものが目に入ります。それは現代文明を支える電線です。これがあることで景観はかなりダメージを受けます。しかし皆さんお気づきでしょうか、この井の口地区で最近、電線が消えてしまった通りがあります。歴史博物館の南、東西となる旧百曲りにあたる通りです。井の口の景観に欠かせない金華山、ここから眺める山の緑はまた格別です。

## 事務局だより

事務局長 名和 利夫

私たちが住んでいる「長良川地区・金華山地区」が国の重要文化的景観地区選定に答申されたことは、前号通信でお伝えしたところです。  
今号では、このまちの魅力と景観を創り出している建造物の中から、井の口まちづくり会における第1回「まちの文化的建造物」を顕彰をさせていただきます。この7邸の玄関先には、桜の木に印字した当会贈呈の標札がかけられています。